

平成28年度 川崎市環境技術産学公民連携公募型共同研究事業

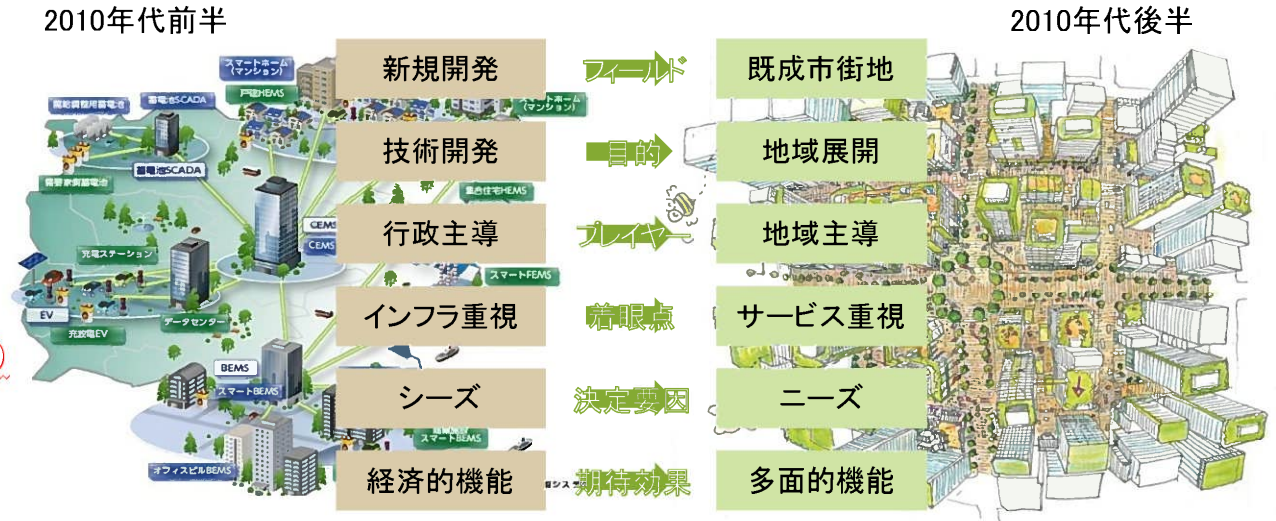
地域活性化と環境共生を両立する 低炭素コミュニティの実現手法に関する研究

研究代表者: 東京都市大学環境学部 准教授 大西暁生
共同研究者: 東京都市大学環境学部 教授 室田昌子
大日本コンサルタント(株) 森田紘圭
海老原学
研究協力者: 横浜市立大学 特任教授 井村秀文
地球環境戦略研究機関 荻原 朗

研究の背景・必要性

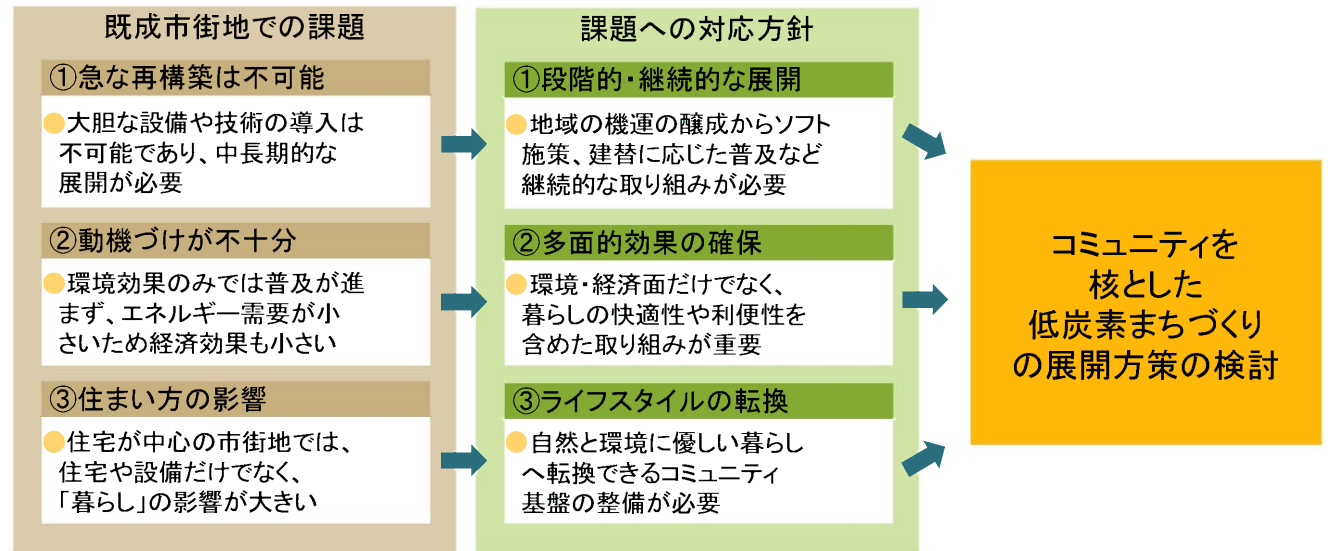
■ 低炭素まちづくりの今後の展開

- スマートシティ戦略は、再開発や都市拠点をついフィールドとした技術実証段階から、一般市街地への普及展開の段階に移っている。
- しかし、既成市街地において継続的に低炭素まちづくりに取り組むためには、
①市民のニーズを重視した取り組みの展開
②地域主導による継続的な取り組み
 が必要不可欠である。



■ コミュニティ(≡ 地域)を核とした低炭素まちづくり(≡ より良い生活のための取組)へ

- 既成市街地における展開では、
 ① **継続的・段階的な展開**
 ② **インセンティブの確保**
 ③ **ライフスタイルの転換**
 が重要となる。
- コミュニティでの継続的な取り組みが重要である。
- コミュニティレベルでの低炭素まちづくりの展開ができるスキームやロードマップを構築する必要がある。



本研究の目的と目指すすがた

■研究の目的

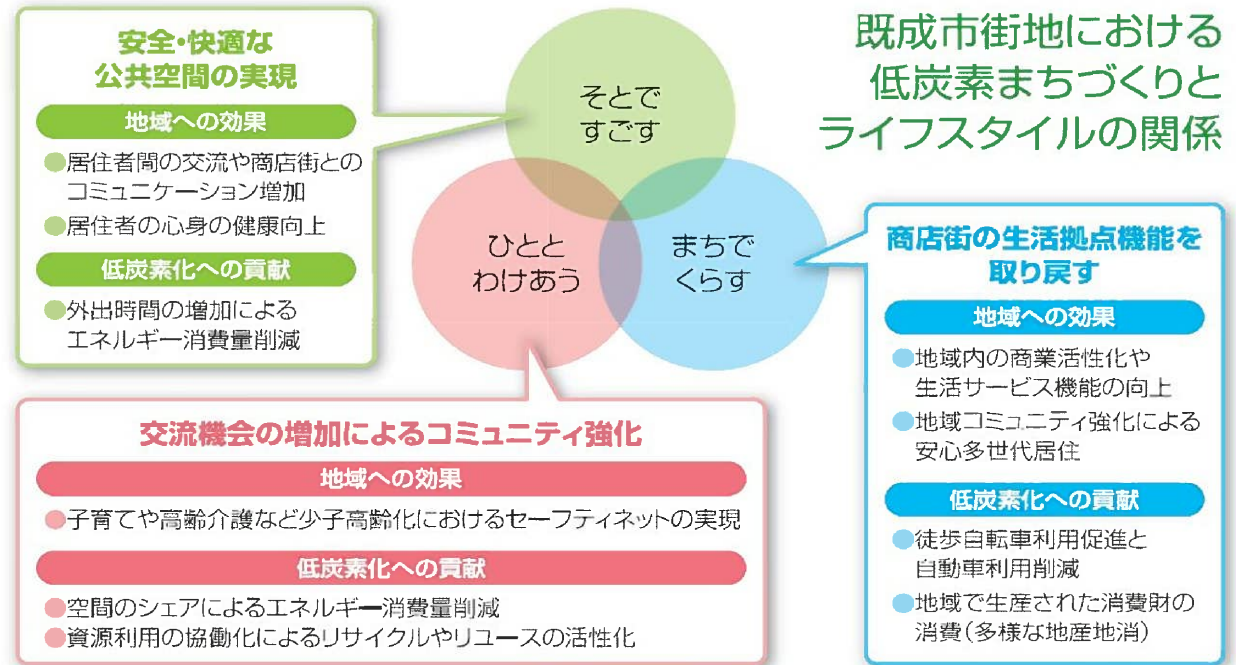
既成市街地における低炭素まちづくりの実現に向けて、以下を目的とする。

1. 住民主導による低炭素なコミュニティの実現手法・PDCA手法の確立
2. 住民主導型の低炭素なコミュニティ構築に向けた環境政策の方法論とその役割分担の検討

■目指す低炭素なコミュニティのすがた

●単に新たな技術の導入を図るものではなく、コミュニティ拠点の性能向上と交流機会の増加を通して、
「屋外で過ごす」
「徒歩圏で生活する」
「交流を育む」
ことを目指す。

●上記の低炭素型のライフスタイルが生まれるコミュニティのあり方やプログラムを段階的に実現できる施策メニューやロードマップ、実施体制の検討を行う。



全体計画

既成市街地における低炭素まちづくりのスタートアップから長期目標までの進め方を実証的／理論的に検討し、ロードマップとしてとりまとめる

1 スタートアップ

【施策内容のイメージ】

- 地域で低炭素まちづくりを進める初期段階
- 体制づくりや勉強会、簡易な取り組みの実施

2 短中期

【施策内容のイメージ】

- ソフト施策の実施や社会実験等を進める段階
- ライフスタイル支援や商店街施策等の実施

3 長期

【施策内容のイメージ】

- 建物やインフラを含めた低炭素化の実現
- インフラ基盤の再構築や建替を通じた環境技術の積極導入

研究内容

- 地域との対話を通じた低炭素まちづくりの支援手法の検討
- 取り組みの企画・実施・検証を通じた有効施策の整理

- ライフスタイル・ニーズ調査を通じた環境配慮行動普及手法
- 地域活性化と環境共生を両立する施策メニューの整理

- 低炭素まちづくり計画を検討するための地域データベース整理
- 段階的な施策導入手順の構築によるロードマップの検討

目指すアウトプット

地域主導型の低炭素まちづくりの実施体制とスタートアップ手順化

低炭素型ライフスタイル普及促進手法と支援施策の提案

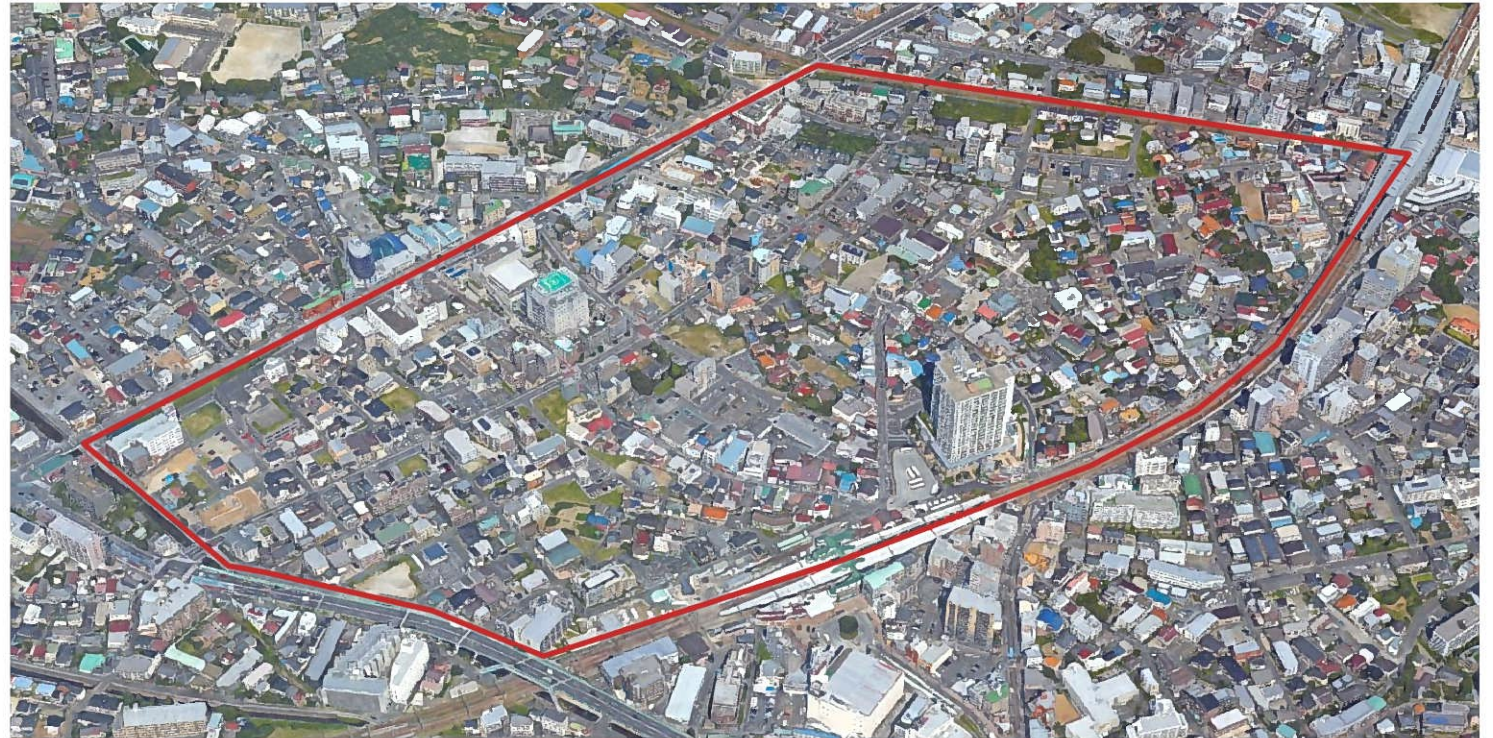
ソフト・ハード統合事業による環境共生・地域活性化の評価手法

段階的な環境技術導入検討データベース構築と計画手法の提案

対象地域の概要

■対象地域：多摩区登戸駅北側地区

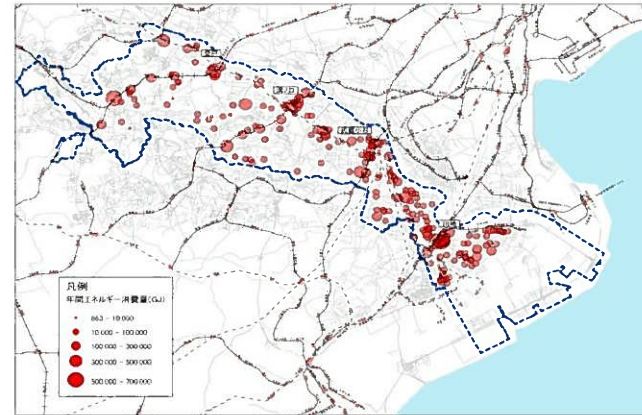
- 地域との**定期的な会合**により様々な取り組みや実証実験を実施しており、その協力体制が確立されている。
- 区画整理が進行中**の地域であり、将来の地域像や地域活性化を考えることに意欲的である。
- 新住民の割合が増加しており、①**商店街と周辺住宅街との関わりが徐々に薄くなっていること**、②**現状では公園がなく防災や子育て環境に課題**があり、区画整理の完成を待たずに対策を行う必要がある。
- 環境に対しても積極的であり、「**エコ**」を売りにした**商店街等**の形成も視野に入れている。
- 多摩区まちづくり協議会等**との連携により環境まちづくりの取り組みも進めている。



昨年度までの達成内容

◆ 川崎市全域を対象とした生活・環境データベースおよび施策展開手法の整理

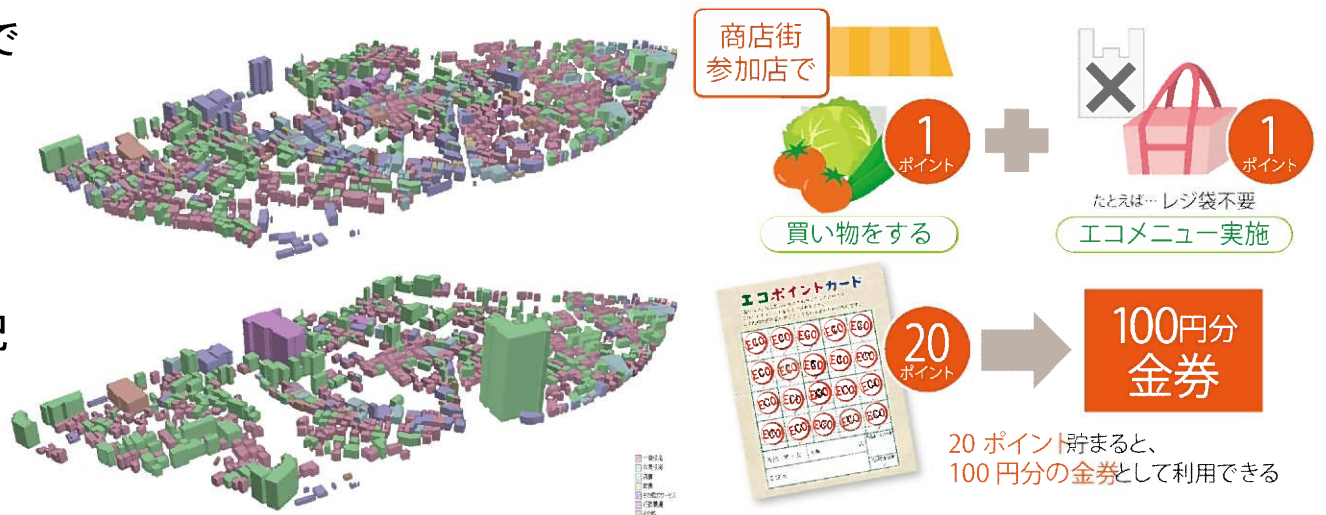
- 川崎市全域を対象として、低炭素かつ活力ある地域の実現検討に向けた、**二酸化炭素排出量の将来予測**、地区ごとの**生活環境評価**を実施
- 各商店街が取り組んでいる**省エネメニュー**や、今後の展開可能性のある**施策メニュー**を幅広く整理し、今後の低炭素コミュニティ検討のデータベースとして整理



分類	顕在的・潜在的エコ活動
交通	自転車の利用促進、駐輪場の整備 レンタルサイクル カーシェアリング コミュニティバスの利用促進 ネットショッピング(店頭受け取り) 宅配サービス
サービス	ポイントカードの利用 エコバック作り トイレ(店内)の節し出し 雨水タンクの設置 食用油の回収
共有空間	商店街内にオープンスペースを設置 フリーマーケット コミュニティカフェの設置 休憩スペースの提供(ベンチなど) チャレンジショップを出店 商店街内に託児所の設置 高齢者でも参加しやすいイベント 地場産品を使った催し 商店街の空き地にベンチやプランターの設置 キャンドルナイト まち歩きツアー
活性化事業	パリアフリーを徹底 地元小中学校と協力した事業展開 エコ商品の販売促進 アニメや歴史的偉人を使った町おこし

◆ 登戸地区を対象とした地域主導型の低炭素まちづくりプロジェクト実現手法の検討

- 商店会や環境活動団体など、地域内で低炭素まちづくりに取り組むプロジェクトの組織化を行うとともに、まちづくりを検討する**3次元基盤データ**を構築
- ソフト施策として、商店街利用と環境配慮行動をともに促進できる**エコポイントカード**の実証実験を行い、環境配慮行動の普及を展開



今年度の達成目標と実施項目

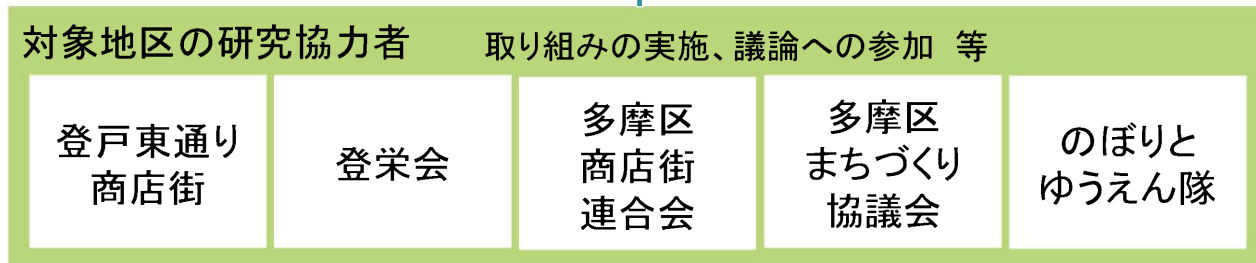
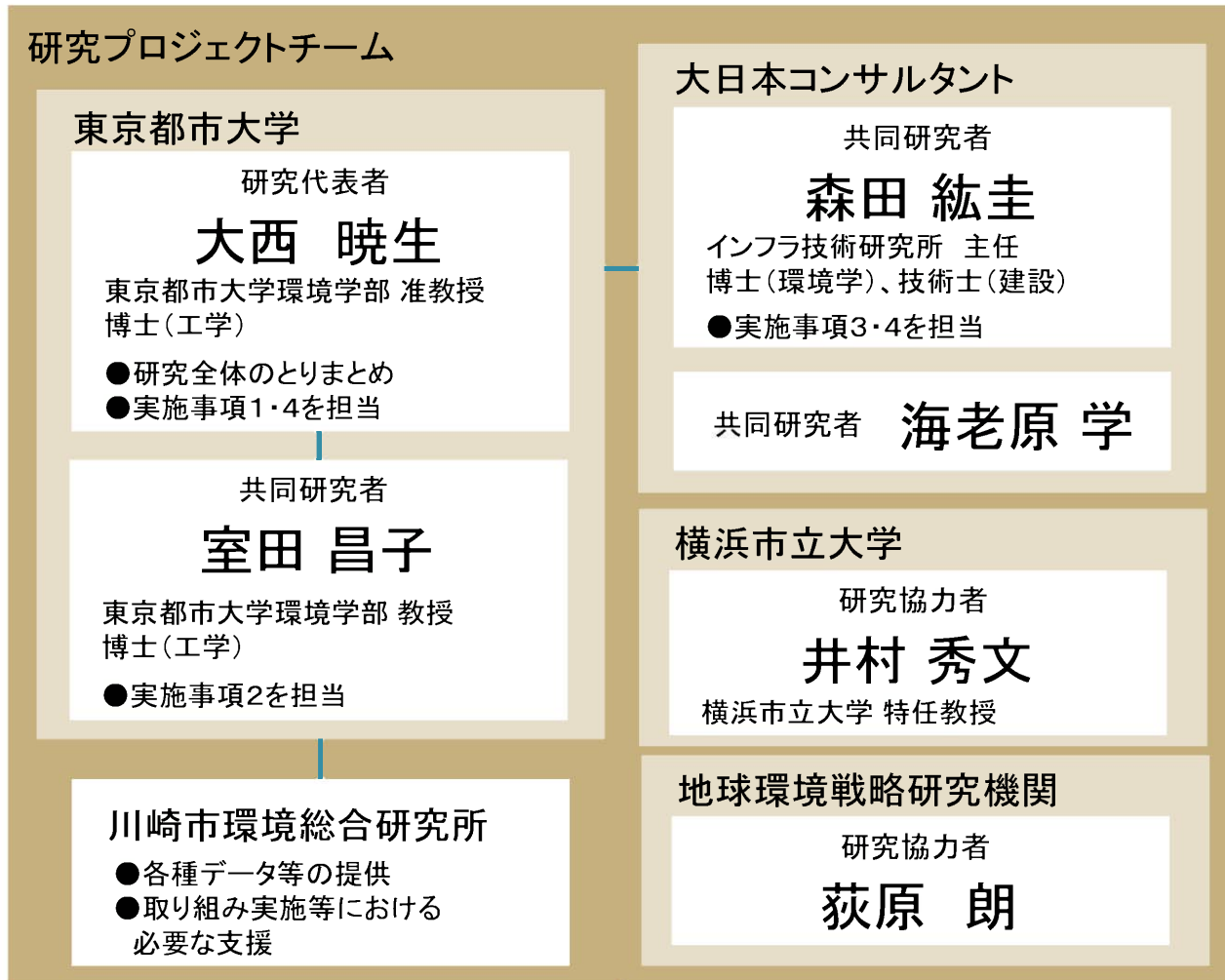
◆ 達成目標

- 低炭素まちづくりにおけるソフト事業の展開と仕組み作り
- 商業者・住民のライフスタイル改善や建物更新時に向けた環境情報・学習機会の提供
- 低炭素まちづくりの実現プロセスとロードマップ提案（手順書とリーフレット）

◆ 具体的に

- 1 既存コミュニティにおける低炭素まちづくりロードマップの構築
- 2 コミュニティにおける低炭素型ライフスタイルの普及促進構造の把握と普及展開手法の提案
- 3 空閑地利活用事業の実証調査とその効果検証
（二酸化炭素排出量の削減効果及び商店街利用の促進効果）
- 4 商店街エコポイント事業の実施とその効果検証
（二酸化炭素排出量の削減効果及び商店街利用の促進効果）

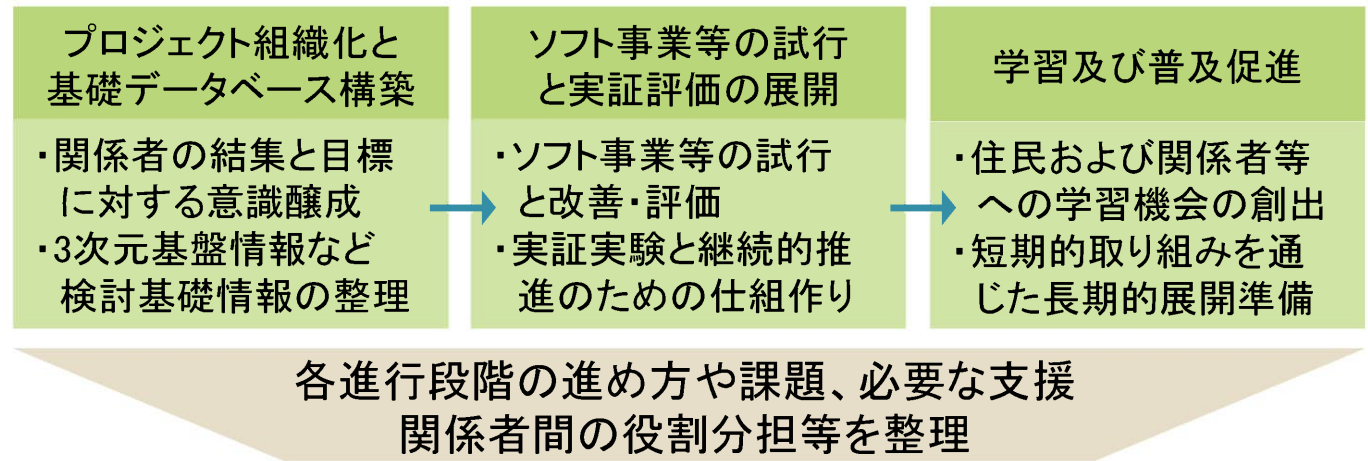
研究の実施体制



研究担当者	関連実績
研究代表者 大西暁生	環境省地球環境研究総合推進費E-806メンバー(H20~H22)、環境省環境研究総合推進費1E1105研究協力者(H25)など低炭素まちづくりに関する研究実績多数
共同研究者 室田昌子	中央区日本橋地域学生工房プロジェクト(H15~H24)、横浜市都筑区・町田市などにおける商業地域活性化の調査研究、イギリスのロンドンにおけるポトムアップ型の低炭素政策の調査研究(H23~25)など関連分野の研究実績多数
共同研究者 森田紘圭	環境省環境研究総合推進費1E1105研究協力者(H24-H25)、次世代エネルギーインフラ(都市モデル)構想策定調査業務(岐阜県、H22)など、低炭素まちづくりの調査・計画・研究業務実績多数
共同研究者 海老原学	H25地域省エネルギー促進事業委託(岐阜県、担当技術者)、H25ごみ減量・エネルギー化調査業務委託(岐阜市、担当技術者)などエネルギー実証実験に関する実績あり

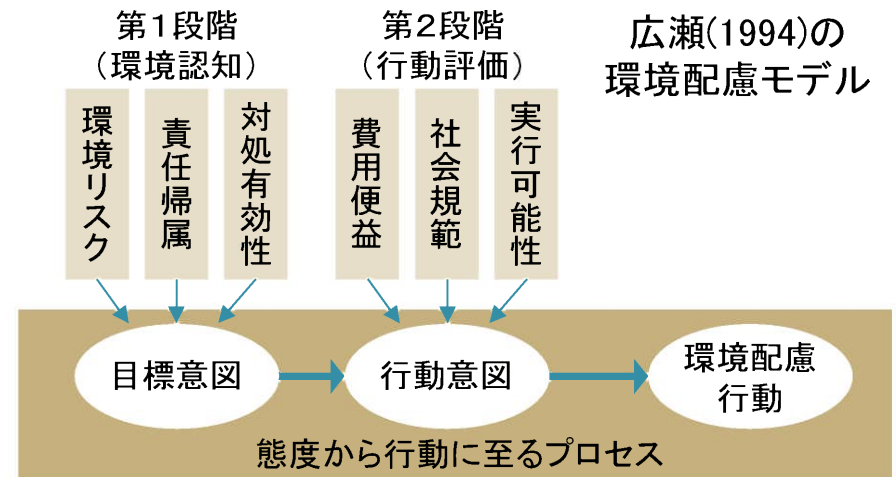
1 既存コミュニティにおける低炭素まちづくりロードマップの構築

- 3ヶ年での研究において得られた成果や課題を整理
- 他地域で展開する際の基礎的知見として活用するため、必要な関係者、各段階における役割分担や支援策等をロードマップ(手順書とリーフレット)として整理



2 コミュニティにおける低炭素型ライフスタイルの普及促進構造の把握と普及展開手法の提案

- 昨年度まで実施してきた住民及び商業者に対する環境配慮行動への意識を分析し、商業者が取り組みやすい行動と、住民が期待する環境配慮行動の違い等の分析を行うことで、既成市街地において普及展開しやすい低炭素施策メニューを提示する
- 商業者に対して勉強会等を開催することで、普及啓発に向けた継続的な学習機会を創出する



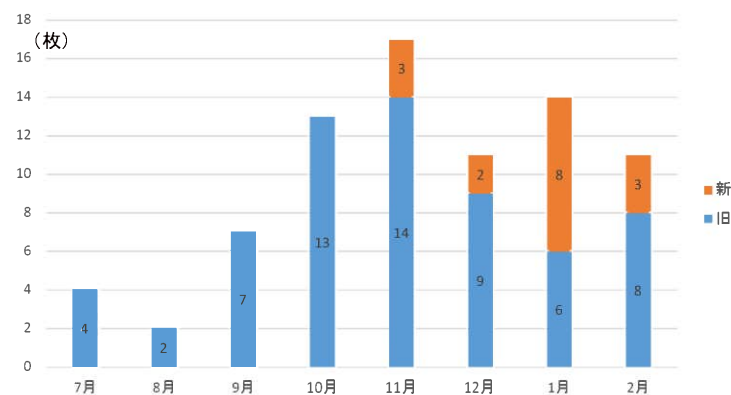
3 空閑地利活用事業の実証調査とその効果検証

- 外出しやすく滞留しやすいコミュニティの形成、コミュニティの継続性の確保のため、**空閑地を利用した「居場所づくり」**とその低炭素効果の実証実験
- 利用者に対するライフスタイルの調査を行い、**環境及びコミュニティへの効果**を検証



4 商店街エコポイント事業の実施とその効果検証

- 昨年度から実施してきたエコポイント事業で回収したカード履歴(6月現在で120枚)から、**商店街の利用実態、環境配慮行動促進による二酸化炭素排出量の分析**
- 商店と利用者のニーズを把握し、既存商店街におけるエコポイント事業導入の手法やその効果について整理



カード回収状況

実施計画

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
■計画準備									
(1) 低炭素まちづくりロードマップの構築									
①まちづくり実証のとりまとめ				■					
②ロードマップの整理							■		
③支援策等の提案							■		
(2) 低炭素ライフスタイル普及検討									
①アンケート調査結果の分析		■							
②商店主等を対象にした勉強会の開催					■				
③普及展開方策の提案						■			
(3) 空閑地利活用事業の実証調査と効果検証									
①実証実験準備および調整	■								
②実証実験の実施			■						
③効果検証及び継続的運営の仕組み作り						■			
(4) エコポイント事業の実施と効果検証									
①制度の見直し	■								
②効果検証		■							
■キックオフ／成果報告	●								●
■環境技術展								●	
■登戸エコ会議	●		●		●		●		●